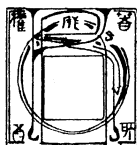


昭和四年三月二十九日印刷
昭和四年四月一日發行



編輯發行者
印刷者

發行所

日本名著全集
第一期出版
江戸文藝之部
第十二卷
新書本集
(非賣品)

東京市日本橋區馬喰町二丁目一番地

日本名著全集刊行會

代表者 石川寅吉

東京市日本橋區馬喰町二丁目一番地

日本名著全集刊行會

電話浪花一八四〇番一八四一番
振替東京一八四四番

日本名著全集 第一期出版

「江戸文藝之部」全廿九卷 書目豫定一覽

第二卷 西鶴名作集 下

○好色一代男 ○好色二代男 ○好色三代男 ○好色一代女
○好色五人女 ○男色大鑑 ○武道傳來記 ○武家義理物語
○新可笑記 ○西鶴諸國咄 ○懷硯 ○近代艶隠者 ○日本永
代藏 ○世間胸算用 ○織留 ○本朝二十不孝 ○本朝櫻陰比
事 ○西鶴置土産 ○萬の文反古 ○名残の友 ○俗つれ
○一目玉鉉

第三卷 芭蕉全集

正篇 ○俳句集 芭蕉句選 句選拾遺 補遺 ○連句集 江戸兩吟集 江戸
三吟 水頭俳諧集 補遺 ○俳文集 文集補遺 ○評言集 貝おほひ 田舎
句合 常盤屋句合 初級紙評註 續の原 ○紀行集 甲子吟行 鹿島紀行 笈の小
文 更級紀行 奥の細道 隨筆日記 ○書簡集 消息集 尺牘集 補遺 ○語
錄集 萬の松原土來抄 三冊子 山中問答

外篇 ○虛果 ○冬の日 ○蛙合 ○春の日 ○鶴の歩 ○曠野
○其袋 ○瓢 ○猿蓑 ○深川集 ○炭俵 ○別座敷 ○笈日記 ○
續猿蓑 ○韻塞 ○小文庫

附錄 枯尾花 ○芭蕉翁行狀記 ○全傳 ○芭蕉翁繪詞傳 ○
年譜

第四卷 近松名作集 上 (第二回配本濟)
第五卷 近松名作集 下 (第六回配本濟)

○上卷二十六篇・下卷二十四篇

第六卷 淨瑠璃名作集 上 (第十四回配本濟)
第七卷 淨瑠璃名作集 下 (第廿三回配本濟)

○上卷二十二篇・下卷十九篇

第八卷 歌舞伎脚本集 (第十九回配本濟)

○十二篇

第九卷 浮世草子集 (第十六回配本濟)

○十篇

第十卷 怪談名作集 (第十二回配本濟)

○十一篇

第十二卷 黃表紙廿五種 (第一回配本濟)

第十二卷 洒落本集 (第廿四回配本濟)

○百花評林○異素六帖○聖遊廓○月花餘情○遊子方言
○辰巳之園○當世氣どり草○妓子呼子鳥○婦美車紫軒
○深川新話○道中粹語錄○大通多名於呂志○愚人贅漢
居續雁金○狂訓彙軌本紀○和唐珍解○令子洞房○通言
總鑑○田舍芝居○傾城買二筋道○田舍談義○女郎買襪
味噌汁○娼妓絹籠○錦の裏○仕懸文庫○辰巳婦言○讚
極史○籬の花○廓字久爲壽○河東方官箱まくら○色深
狹睡夢○新湯後の月見○金郷春夕榮○和歌始衣抄○古
契三唱

第十三卷 讀本集 (第七回配本濟)

○七篇

第十四卷 滑稽本集 (第三回配本濟)

○二十五篇

第十五卷 人情本集 (第廿一回配本濟)

○七篇

第十六卷 南里見八犬傳 (第四回配本濟)
第十七卷 中 (第九回配本濟)
第十八卷 下 (第十七回配本濟)

第十九卷 狂文狂歌集

○曉月坊酒百首○世の中百首○雄長老狂歌集○貞徳狂
歌百首○吾吟我集○古今夷曲集○後巽夷曲集○狂歌う
た合○ト養狂歌集○狂歌鳩の枝○貞柳全集○明和十五
番狂歌合○狂歌若葉集○狂歌万載集○徳和歌後万載集
○狂歌才藏集○四方の留槽○吾妻なまり

第廿一卷 修紫田舎源氏 (第五回配本濟)

第廿二卷 膝栗毛其他 (第十一回配本濟)

○五篇

第廿四卷 和文和歌集 (第十三回配本濟)

○三十一篇

第廿六卷 川柳雜俳集 (第八回配本濟)

○四篇

第廿七卷 俳文俳句集 (第廿二回配本濟)

○三十三篇

第廿八卷 歌謡音曲集

義太夫（伝松名作集及淨瑠璃名作集）重演するものは之に採らず○傾城阿波の鳴門（八つ目願の段）○艶容女舞衣（下の巻酒屋の段）○戀娘昔八丈（下の巻錦ヶ森の段）○桂川連理柵（下の巻帯屋の段）○郭文章（吉田屋の段）○傾城戀飛脚（下の巻新口村の段）○基太平記白石噺（七つ目揚屋の段）○花上野響の石碑（四つ目志波寺の段）○木下蔭狭間合戦（七つ目竹中陣屋の段）○蝶花形名歌島臺（八の切小坂都館の段）○三十三間堂棟由來（余太郎住家の段）○玉藻前磯袂（三の切道楽館の段）○壺坂靈驗記（深市内の段）○近江源氏先陣館（八つ目切小四郎切腹の段）○鎌倉三代記（七の切三浦別れの段）○加々見山舊錦繪（六の切草紙打の段）○太平記忠臣講譯（七つ目喜内住家の段）○祇園祭禮信仰記（四の切恭立の段）

河東節 ○松の内○神樂獅子○隅田川舟の内○禿萬歲○炎すゑ巖の疊夜着○酒中花○水調子○うかぶ瀬○ぬれ扇○亂髮夜編笠○助六所縁江戸櫻○常陸帶花柵○道成寺○淨瑠璃供養○邯鄲○熊野○泰平住吉踊○浮世傀儡師（外記物）○小鍛冶名劍卷（半大夫物）

一中節 ○辰巳の四季○松づくし○泰平船づくし○高砂松の段○神樂高砂○蟲繪の島臺○萬屋助六心中○自然居士過去物語○源氏妹が宿○夕霞淺間獄○尾上雲賤機帶○源氏十二段○頼光大江山入○鉢の木○與作小萬

夢路の駒○道行三度笠○鶴飼石和川○お夏笠物狂○競牡丹○源平妹春の鶏合

常盤津節 ○老松○子寶三番叟○蜘蛛絲梓弦○積戀雪關屏○四天王大江山入○兩願月姿繪○戻駕色相肩○帶文桂川水○倭假名色七文字○壽靱猿○松色操高砂○再夕暮雨の鉢木○奇良娼娟艶○後之月酒宴島臺○恩愛瞳關守○願絲繼亭環○忍寄戀曲者○花舞臺霞猿曳○薪負雪間の市川○乗合船惠方萬歳○其扇屋浮名戀風○景清○勢獅子劇花籠○釣女○戻り橋○三保の松○松の島○三世相錦繪文章○大森彦七

富本節 ○年朝嘉例壽○四十八手戀所譯○百夜菊色の世中○夫婦酒替ぬ中仲○其倅淺間獄○道行戀飛脚○と連理橋○新曲高尾懺悔○花川戸身替の段○春夜障子梅○新曲かぐら獅子○徒髮戀曲物○茂懺悔陸言○道行念玉蔓○幾菊蝶初道行○拙筆力七以呂波○草枕露の音玉歌和○奈須野○御代榮益穩富種○高砂女夫

清元節 ○梅の春○榮能春延壽○北州千歳壽○四季三葉草○其小唄夢廊○絲の五月雨○深山櫻及傘樹振○御名殘押繪交張○月雪花名殘文臺○詠梅松清元○色山解深川○大和の手向五字○色彩間刈豆○法花姿色同○月花妓友島○筐花手向橋○復新三組盡○道行浮埒○道行旅路の嫁入○六歌仙容彩○彌生の花淺草祭○おどけ

俄煮珠取○道行旅路の花罽○再春菰種時○初霞淺間緑
 ○メ能色相圖○造鉄菊陸言○菊嬉閑陸言○倭假名色七
 文字○重棧閣の小夜衣○明烏花濡衣○梅柳中宵月○日
 月星晝夜の織分○初棉燈高島○食浴衣汗霄○忍逢春雪
 解○色増杪夕映○花雲助相肩○青海波○助六曲輪菊
 新内節○二重衣戀占○若木仇名草○千日寺名殘鐘○
 眞夢血染抱柏○歸吟名殘の命毛○傾城音羽瀧○膝栗毛
 「赤坂の段」○膝栗毛市子の段」○明烏夢泡雪○明烏後
 眞夢○累身賣の段
 齒八節○道行相合巨燵○桂川戀の柵○鳥邊山○花街
 の色糸○道行菜種の亂吟○江戸の繪姿○道行緑花房○
 口舌八景○小春治兵衛巨燵の段○夕霧
 江戸長唄（りやうす大唄季を含む）○矢の根五郎○無間の鐘
 ○傾城道成寺○風流相生獅子○二人婉久○英獅子亂曲
 ○百千鳥娘道成寺○高尾さんげの段○天人羽衣京鹿子
 娘道成寺○英執着獅子○風流妹春の柱建○門出京人形
 鳥蘭○初吟法樂舞○鐘入解脫衣○劍鳥帽子照葉盡○柳雛諸
 櫻宇佐幣○百夜車○委の鏡關寺小町○春調娘七種○童
 子戲面被○衣かづき思破車○童獅子○敦草吉原雀○相
 生獅子○襷染分紅葉○隈取安宅松○御代松子日初戀○
 其容形七枚起請○關東小六後雛形○其面形二人婉久○
 黒かみ○女夫松高砂丹前○菊壽の草摺○勢五大力○吹
 雪の雛形○三重霞燈敷濱鳥○舞扇蘭生梅○濱松風戀歌
 ○ゆかりの月○美面より○七枚續花の姿繪○遅櫻手爾

葉七字○戀男調松風○再春菰種時○戀巖奇掛合○四季
 詠寄三大字○閨妓姿八景○正札附根元草摺○寄三津再
 十二支○其九繪彩四季櫻○新獅子○三升猿曲舞○石橋
 ○老松○不動○七所御橋初鐵簾○大和の手向五字○外
 記猿○復新三組盡○廓三番曳○歌へず人餘大津畫○
 月雪花蒔繩の厄○拙筆力七以呂波○八重霞賤機帶○後
 の月酒宴鳥臺○御歳玉海老手遊○吾妻八けい○六歌仙
 容彩○姿花後雛形○初子日○俄獅子○外記の傀儡師○
 初しぐれ○巽八景○花甌曆色所八景○勸進張○花兄弟
 十二月所作○鳥臺○軒端松○土農工商○秋色種○雛鶴
 三番曳○花見車○手習子○織どの○常磐庭○鶴龜○五
 色の絲○今様小鍛冶○柳糸引御攝○壽○鞍馬山○翁千
 歲三番曳○廓丹前○菖蒲ゆかた○喜三之庭○紀州道成
 寺○連獅子○時雨西行
 歌澤 寅派、芝派の歌詞を全部収める。
 小唄・端唄・雜曲集 江戸時代から唄はれて今日に尙唄
 はれてゐる雜曲三百餘を収む。

第廿九卷 謡曲三百五十番集 (第十八回)
 配本濟

(終)